

Contents

● 巻頭言 機構改革と大学との連携

● Topic 第4回 福井 CST 認定証書授与式を
挙行了しました

- Pick Up! 第3回福井 CST シンポジウム開催
学校インタビュー ショップ 博物館等インタビュー
- 受講者だより 「サイエンスカー巡回指導」
CST だより 「大型振り子実験器」商品化
- お知らせ 平成 27 年度上級 CST 養成プログラム受講者募集

巻頭言

機構改革と大学との連携

福井県教育研究所
所長 小和田 和義

福井県教育研究所は、平成 26 年 4 月に機構を改革し、研修・調査研究・教育相談を通して、迅速に新しい教育施策を、学校での教育方法の実践や教育問題の解決等に反映させていく体制を整えました。

研修部では、従来の講義型の研修体制の見直しを図り、通信型研修・実践型集合研修（ロールプレイング方式等を取り入れた演習型の集合研修）・訪問研修を有機的に関連付けた研修体制とし、各学校の具体的なニーズに迅速・的確に対応できるようにいたしました。

調査研究部では、3つのユニット（数学・英語・学力調査分析）で研究を進めています。数学ユニットでは、生徒が自ら学ぼうとする予習的課題を組み入れた新しい学習スタイルや、グループ活動（知識構成型ジグソー法等）、基礎学力を押しえ ICT 教材を活用した授業の研究を行っています。英語ユニットでは「福井型 18 年教育」

を踏まえ、小学校から高等学校までの CAN-DO リストの作成や、それを達成するための指導法の研究を行っています。学力調査分析ユニットでは、全国学力・学習状況調査と SASA（福井県学力調査）とを一括で管理・分析し、課題やその解決のための指導法等を迅速に各学校に提示するとともに、訪問研修等で年間を通したサポートを行っています。

教育相談部では、従来の来所・電話・メール相談に加えて家庭教育を応援するために、家庭教育相談応援サイトを開設したほか、各市町の PTA 連合会と協力して家庭教育フォーラムを実施しています。

また、福井大学との連携も進み、それぞれの事業が成果を上げつつあります。大学 COC 事業につきましては、CST 事業から引き続き福井大学と県教育委員会が協力して CST の養成と支援に取り組んでおり、2015 年 4 月 1 日現在、のべ 28 名（上級 17 名、中級 3 名、初級 8 名）の CST（福井）が誕生し、県内各地で活躍されています。

研究所としましては、学生・院生の CST 受講者のニーズに対応できるよう、今後とも講座内容を充実させていきたいと考えています。

Topic 第4回 福井 CST 認定証書授与式を挙行了しました

平成 27 年 3 月 23 日（月）、福井大学 文京キャンパスにて、第 4 回福井 CST 認定証授与式を挙行了しました。認定を受けたのは、2～4 年間にわたる CST 養成プログラムを修了した、初級 CST 受講者（学部生）5 名、上級 CST 受講者（現職小・中学校教員）4 名の計 9 名です。

CST 所属校は理数教育支援拠点（配置校）として指定され、所属校を拠点に地域での理数教育の推進役となります。現在、平成 25 年度までに認定された 21 名の CST が福井県内の各地で活躍しています。

これまで、そしてこれからも、地域支援拠点（小学校）や CST 養成・支援機関と連携をとりながら、それぞれの所属する学校や地域の理科教育支援のために様々な場面で活躍していきます。



平成 26 年度認定 福井 CST

上級 CST（福井）

南越前町立河野小学校	吉水 豊治
福井市川西中学校	富島 修司
福井大学教育地域科学部 附属中学校	木下 慶之
あわら市立金津小学校	平田 幸憲

初級 CST（福井）

養成プログラム修了	松本 拓也
養成プログラム修了	奥出 朱里
養成プログラム修了	西行 大志
養成プログラム修了	本谷 匠
養成プログラム修了	岩佐 章弘

（所属は平成 27 年 3 月 23 日現在）

第3回福井 CST シンポジウム開催

11月29日(土)、福井大学文京キャンパスにおいて第3回福井 CST シンポジウムを開催しました。福井の CST、CST 受講者はもちろんのこと、全国各地から71名の CST および CST 受講者、事業関係者が参加して、各地の取り組みについて情報交換を行いました。

プログラム

- 13:20～13:30 開会のごあいさつ
 13:30～13:50 事業報告
 13:50～14:50 基調講演
 「科学を伝える～ノーベル賞受賞式に同行して～」
 読売新聞大阪本社 宇治学研支局長 今津 博文 氏
- 15:00～15:40 ショートプレゼンテーション
 15:00～16:40 ポスター・ワークショップ
 16:40～17:55 パネル討論 テーマ「科学を伝える」
 17:55～18:00 閉会のごあいさつ

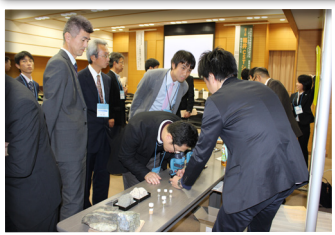
○県内より

川原の石が丸くなる
 視覚的光教材
 概念評価テスト
 煮干しの解剖
 銅の酸化
 熱に関する実験
 防災教育



○県外から

振り子の運動
 他地域の養成プログラム
 他地域の CST 活動
 小中連携理科
 東日本大震災の被害調査



学校インターンシップ

本年度は中級 CST 受講者2名と初級 CST 受講者6名が、県内の小・中学校にご協力をいただきインターンシップに取り組みました。なお、上級 CST 3名も指導にあたりました。

永平寺町立永平寺中学校 受入担当者コメント

学生にとってはその修行の場が学校現場であり、授業を参観したり、実験や観察の準備、教員のアシスタントをこなすことによって様々な理科教師の側面を捉えることができる。また、教員とのコミュニケーションは学びを深めていくの絶好のチャンスである。

福井市麻生津小学校 初級 CST 受講者

学んだことは、授業のことや準備室について、指導案の書き方以外にもたくさんあった。これからそれらを活かして、子どもたちの前で授業をするときには、子どもたちに何を学んでほしいかを第一に考えていきたい。

博物館等インターンシップ

本年度は中級 CST 受講者1名と初級 CST 受講者4名が、福井県児童科学館、福井県立恐竜博物館のご協力のもとインターンシップに取り組みました。

福井県児童科学館 初級 CST 受講者

イベントに参加させていただき、多くの子どもたちと関わることができ、またハプニングに臨機応変に対応する大切さと安全確保の大切さを実感することができました。サイエンスショーで実験や原理の説明をさせていただいたことも貴重な体験でした。



受講者だより 「サイエンスカー巡回指導」



理科の学習では子どもたちが科学現象を体験したことがあるかないかで理解度に大きく差が出てくるように感じている。サイエンスカーのような機会を利用し、少しでも授業の中で扱うことが難しい種々の科学現象に触れることができると理科の理解度向上につながるのではないかと思います。(中級 CST 受講者)

CST だより 「大型振り子実験器」商品化

上級 CST (福井) が考案した「大型振り子実験器」が、この春商品化されます。

この「大型振り子実験器」は、埼玉大学で開催された日本科学教育学会第38回年会特別企画「全国のコア・サイエンス・ティーチャー(CST)から学ぼう」のワークショップなどで紹介されています。



考案者コメント

教室の天井に設置する大型振り子を用いた時に、「演示用で子供たちが見てるだけ」、「こんな装置は専門が理科以外の先生はやらない」という疑問を感じた。そこで、あえてローテクで、児童が自分で試行錯誤できるような振り子を作りたいと考えた。

お知らせ

平成27年度 福井 CST 養成プログラム 受講者募集



上級 CST 養成プログラム

応募資格

- ① 小学校教諭または中学校理科担当教諭であって、実務経験が7年以上(専修免許取得者は5年以上)ある者または初級 CST 認定者
- ② 勤務時間外を中心とした1～2年間のプログラムに参加を希望する者
- ③ CST 資格取得の後、上級 CST として活動する意思がある者

募集日程

応募期間 4月6日(月)～5月25日(月)
 面接日 5月30日(土)

応募に関する詳細は Web サイトをご覧ください。

講座情報

- 5/10 『恐竜の体重を調べよう』 実技 (福井県立恐竜博物館)
 6/7 『宇宙から地球はどう見える?』 講義 (福井県児童科学館)
 4/26 『木星と月を見よう』 実技 (福井市自然史博物館)

CST News Report No.16 2015.3.31 発行

編集・発行・印刷 福井大学 CST 企画運営事務局

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 ☎ 0776-27-9928

✉ cstfukui@f-edu.u-fukui.ac.jp ♂ http://www.cst-fukui.net/